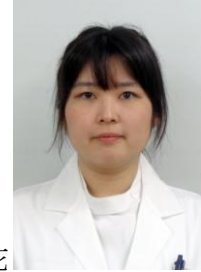


## 和歌山病院での実習を終えて



坂本 紗英花

今回第三内科の実習として5月23日、24日の二日間、国立病院機構和歌山病院でお世話になりました。和歌山病院は結核病棟があるということで結核のお話を中心に呼吸器内科を学ぶ上で必要な学習をさせていただきました。今回実際にN95マスクをつけ結核病棟を見学する貴重な経験をさせていただきましたが、事前に感染経路・機序についての講義をしていただいたため、病棟内の設備がこういった観点からなされているかなど理解を深めることができました。

また、呼吸器の講義では実際に酸素マスクをつけどのように酸素が流れるのかを体験させていただき、毎日病棟で見ているとわからないことを体感する良い機会となりました。

また一番印象深かったのは南方先生による正常レントゲン画像の読み方と気管支の正常構造についての問答形式の講義でした。今までの漠然と単語を覚えているだけの知識が、順序立てて自分たちで考えることですっきりと整理されていき、医学とはこのような姿勢で学ぶことが大切なのだと気付くことができました。この経験を忘れずにこれからは活かしていきたいと思います。

最後に、今回お忙しい中ご教授してくださった先生方、親切にしてくださったスタッフのみなさまに深く御礼申し上げます。